



季節の花でつながる北関東花回廊
ガーデンツーリズム登録制度
令和7年度 登録計画事業実施報告



北関東フラワーパークライン協議会
令和8年3月

【具体的な事業の実施状況】

1) 事業名：花めぐりデジタルスタンプラリー

施設間の周遊を促す取組として、国営ひたち海浜公園が主体となり、令和7年3月15日～6月1日（春期）に下記施設によるデジタルスタンプラリーを実施。

各施設に設置されたQRコードを読み取ることでスタンプを集め、複数施設のスタンプを取得した方への特典を付与する形とした。

- ① 国営ひたち海浜公園（茨城県ひたちなか市）
- ② いばらきフラワーパーク（茨城県石岡市）
- ③ とちぎ花センター（栃木県栃木市）
- ④ あしかがフラワーパーク（栃木県足利市）

令和7年10月10日～12月21日（秋期）は上記施設に加えて Gunma Flower Park+（群馬県前橋市）も含め、3県を跨ぐ5施設でスタンプラリーを拡大実施した。花とイルミネーションの親和性を踏まえ、認知度および参加者数の拡大を図るため、実施期間を冬季まで延長した。

（春期）

（秋期）

あしかがフラワーパーク
国営ひたち海浜公園
いばらきフラワーパーク
とちぎ花センター

春のお花をめぐろう
栃木と茨城の

花めぐりスタンプラリー

4施設のスタンプを集めて素敵なプレゼントをもらおう！

開催期間 2025.3.15 SAT » 6.1 SUN 参加無料

スタンプラリー参加手順

Step 01	Step 02	Step 03
QRコードを読み取ってスタンプをゲット	スタンプポイントでスタンプをゲット	5施設または全施設をめぐってプレゼントに応募

あしかがフラワーパーク
国営ひたち海浜公園
とちぎ花センター
いばらきフラワーパーク

今すぐ参加！

QRコード

国営ひたち海浜公園
IBARAKI FLOWER PARK
あしかがフラワーパーク
とちぎ花センター

【お問い合わせ】 花めぐりスタンプラリー事務局 TEL029-265-9001（国営ひたち海浜公園）

北関東周遊

花めぐりデジタルスタンプラリー

ぐんまフラワーパークプラス
とちぎ花センター
いばらきフラワーパーク
あしかがフラワーパーク
国営ひたち海浜公園

2025.10.10 FRI - 12.21 SUN

ステップ① QR 読込

ステップ② スタンプ GET

ステップ③ ●施設以上でプレゼント応募

ここから今すぐ参加！

参加費無料
アプリ不要

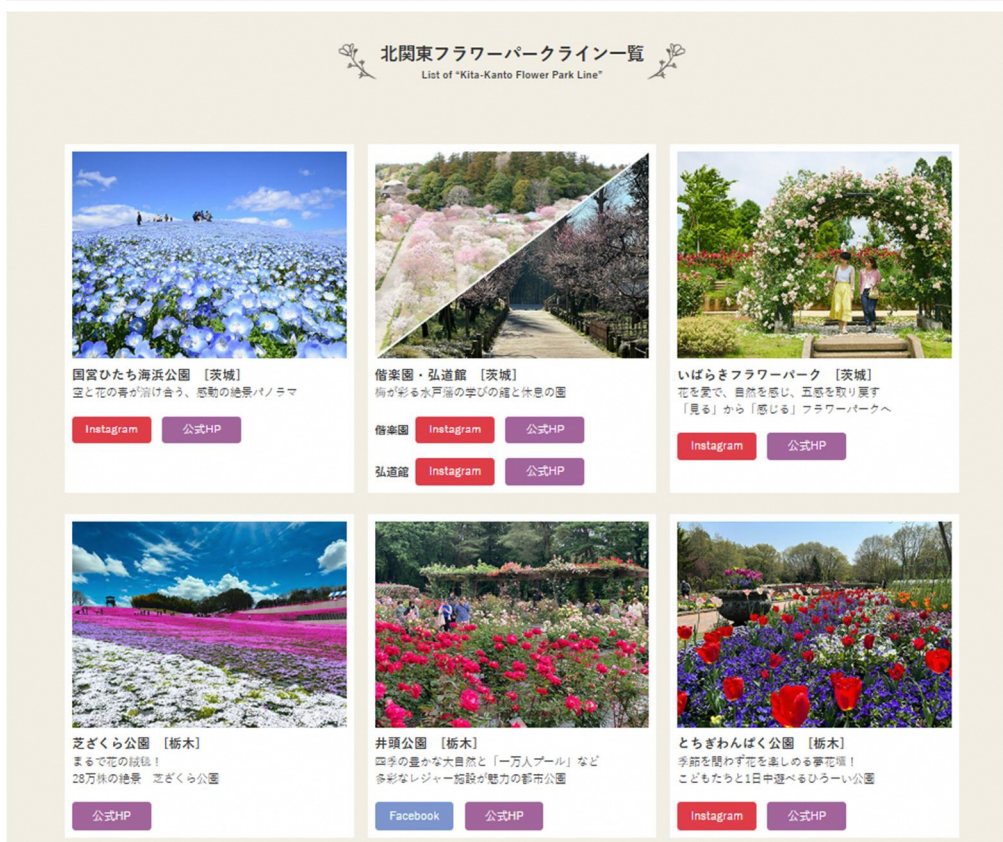
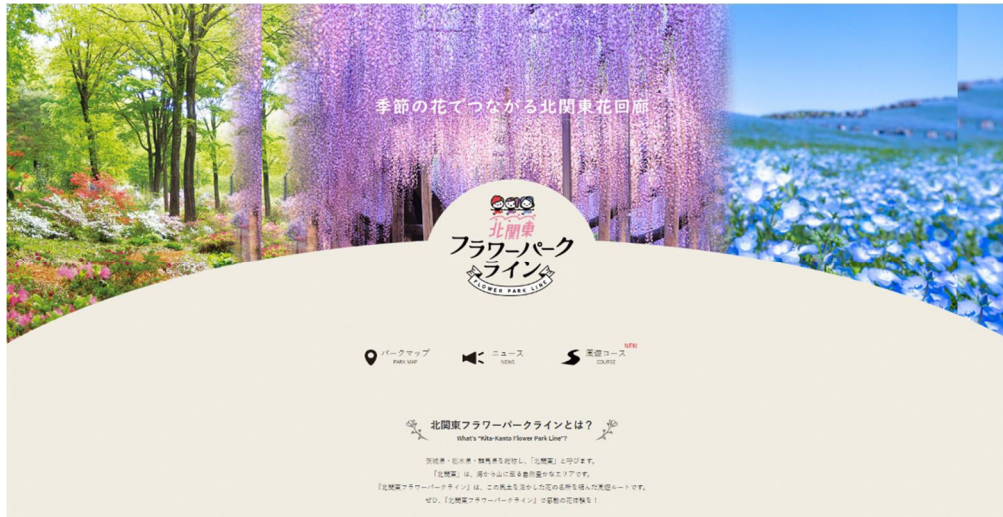
5施設を周遊して素敵なプレゼントをGET！

【お問い合わせ】 花めぐりスタンプラリー事務局 TEL029-265-9001（国営ひたち海浜公園）

2) 事業名：協議会ホームページによる情報発信（HP 改修）

従来から運用しているホームページを改修し、各ガーデンの魅力を一言で表す「情報カード」形式を取り入れ、閲覧者がパッと見ただけで「行きたい!」「もっと知りたい」と思えるようなレイアウトとした。

さらに、周遊コースのモデルルートを掲載し、当計画の周遊を PR した。



協議会 HP（抜粋）

3) 事業名：NEXCO 東日本や JR 東日本と連携した広報活動

当計画を周知するためのポスターを作成し、高速道路の主要なサービスエリア、パーキングエリアや JR 東日本の駅に掲載することで、実際に移動のメインとなる交通機関を利用する方々への PR を図った。



友部サービスエリア

4) 事業名：モデルルートの提案（旅行会社への PR 訪問）

旅行会社の担当者とのツアー造成に向けた意見交換を実施し、モデルルートを紹介するとともに、需要等の情報収集を図った。

（令和7年度実績は1社）

【その他特筆すべき取組と成果】

1) 事業名：観光イベントでの PR

自治体等が首都圏で開催するイベントにおいて、当計画のブース出展などにより、PR を図った。

① 「本物の出会い 栃木」首都圏観光 PR イベント（令和7年9月13日）

東京スカイツリータウンのソラマチひろばで実施された栃木県の観光 PR イベントにおいて、当計画の構成施設であるとちぎわんぱく公園と共同でブースを出展し、PR を実施した。



② 関越道全線開通 40 周年記念イベント（令和7年10月18日）

東日本高速道路株式会社が、ららぽーと富士見で開催したイベントにおいて、当計画やデジタルスタンプラリーの PR を実施した。



2) 事業名：パンフレット作成

イベント等でのPRも積極的に実施しており、イベント等で配布しながら計画全体の魅力をPRできるように、パンフレット(A4 両面)を作成した。



【まとめ】

1) 全体を通しての効果や成果

令和7年4月にガーデンツーリズム登録制度に登録されたことを契機とし、様々なPR活動を実施した。

東京でのイベントにおいては、当計画に興味を示す参加者もたくさんおり、ガーデンツーリズムそのものに加え、当計画の認知度向上を感じることができた。

旅行会社との情報交換では、北関東地域の花をメインとした周遊の需要を確認することができ、また、デジタルスタンプラリーのアンケートにおいても、参加理由として「花めぐりを楽しめたかった」、「北関東を回るきっかけになりそうだった」等の意見があり、当計画の今後に可能性を感じることができた。

2) 今後の取組

- ・引き続きPRを実施して認知度の向上に努めるとともに、周遊を促す取組を実施する。
- ・構成庭園への来訪および周遊に向け、ツアー造成を図るため、旅行会社への働きかけを実施する。